

平成28年度 第2回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	清和園 久世ホーム
事業所	久世訪問介護事業所

● 開催日時・場所

日時	平成28年8月26日（金） 14:30～15:00
場所	久世ホーム 会議室

● 参加者（順不同）

NO	所属（役職）	氏名
1	岡林医院（下京西部医師会理事、副会長）	岡林様
2	民生児童委員協議会 会長	川崎様
3	久世築山町自治会 副会長	森田様
4	久世訪問看護事業所 代表	上田様
5	久世訪問看護事業所 管理者	寺元様
6	京都市久世地域包括支援センター 社会福祉士	千木様
7		
8	久世訪問介護事業所（管理者） 久世ホーム副施設長	中村真悟
9	久世訪問介護事業所（計画作成責任者）	好峯 亮

● 議事

NO	議事内容
1	サービス提供状況について
2	事例検討について
3	その他（質疑応答等）

● 記録

議事1	サービス提供状況について
	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 <ul style="list-style-type: none"> 登録者数 : 18名 定期訪問 : 586回 随時訪問 : 124回 ・6月 <ul style="list-style-type: none"> 登録者数 : 19名 新規利用者 : 3名 定期訪問 : 992回

	<p>随時訪問 : 85回</p> <p>・7月</p> <p>登録者数 : 19名</p> <p>新規利用者 : 2名</p> <p>定期訪問 : 1109回</p> <p>随時訪問 : 122回</p>
議事2	事例検討について
Y様の事例	<p>体調を崩され急激にADLが低下し、排泄も自分でできなくなり、褥瘡ができてしまう。</p> <p>複数回訪問し、体位交換、排泄介助、実施。現在は歩けるまでにADLが回復。徐々に訪問回数も減らし、随時での対応をしている。褥瘡は現在も治療中。</p>
好峯	<p>原因不明で急激にADLが低下されました。従来の訪問介護では、柔軟に訪問回数や援助内容を変更できませんが、定期巡回随時対応型訪問介護の特性を活かし、対応することができました。</p> <p>Y様は、もともと身体的なADLは高く、服薬介助や調理、見守り中心の訪問でしたが、そういった方でも、利用意義のあるサービスだと改めて感じました。</p>
議事3	その他（質疑応答等）
好峯	5月の定期訪問の回数が586回に対し、7月では1109回まで増えています。事業を実施して約5か月、それだけ地域の方やケアマネージャーに定期巡回随時対応型訪問介護のことを知ってきていただいているのだと感じております。
中村副施設長	急激に定期訪問の回数が増えて気づいたことはありますか？
好峯	朝、昼、夕のニーズが多く、服薬介助、食事介助でのご希望が多いです。定期巡回随時対応型訪問介護では、やはりそういった部分を皆様から求められているのだと感じます。
ご参加者	<p>久世ホームさんの車はよく通っていますね。お弁当の配達もされていますね。透析の方は食事制限もありますし、助かっているのではないのでしょうか。</p> <p>月に1000回出入りがあると、それだけたくさんお年寄りがいるのだと感じます。</p>
中村副施設長	透析の方の食事の管理は難しく、配食を提案させてもらったりしています。久世ホームで配食をさせていただいておりますので、定期巡回の際にお弁当を配達できますのでとても相性が良いと感じています。透析の方や食事制限のある方に対してもヘルパーの方で調理ができるようになれば、もっと幅広くご利用していただけるかと思いますが、それが今後の課題です。
中村副施設長	人員に関してですが、現在、ニーズが多く、受けきれっていないのが現状です。
好峯	8月では3件お問い合わせがありましたが、人員のこともあり、お断りさせていただきました。
中村副施設長	他の事業所のケアマネージャーさんからの問い合わせも多く、それだけ地域の方に知っていただけたのだと感じています。早急に人員体制を整えたいのですが、訪問介護の特性

	<p>から、ご自宅に伺うということですので、人選にも気を使わなければなりません。</p> <p>ニュースでもやっていますが、虐待、窃盗等、どうしてもリスクがありますので、そういったことがないように、慎重に事業をすすめております。</p>
ご参加者	<p>人の家に訪問するのはとても気を使います。私も訪問するときは必ず二人で訪問する様にしています。以前、訪問したお年寄りから「お金がなくなった」と言われたことがありまして、結局探したら家にありまして、よかったです。やはり人の家に訪問するというのは難しいですね。</p>
ご参加者	<p>訪問介護は移動も多い為、交通事故には気を使わないといけませんね。</p>
好峯	<p>仰る通りです。先日も出会い頭の接触事故があり、幸い大きいけがには至りませんでした。本当に注意が必要だなと感じております。</p>
ご参加者	<p>5月から7月にかけて、新規の利用者様がいるのに、登録者数が増えていないのはなぜですか？</p>
好峯	<p>新規の利用者様もいるのですが、高齢で、要介護度の重い方もいらっしゃいますので、施設に入所であったり、お亡くなりになったり、利用を休止される方もいらっしゃいます。</p>
千木社会福祉士	<p>南区では、行方不明の利用者様のネットワークがあります。去年、南区では南警察署に出されたもので、検索が100件、行方不明者200名おられました。そこでこのネットワークの登録を推進しております。現在はまだ20件ほどの登録者しかおられません。</p>
好峯	<p>定期巡回随時対応型訪問介護では、安否確認も含まれております。訪問するとおられないこともあり、その際には、こういったネットワークがあると助かります。定期巡回随時対応型訪問介護とこのネットワークは常に連携をとっていく必要があると感じています。</p>
中村副施設長	<p>久世ホームでは、配食、デイサービスと、今まで実施していきっており、3月から訪問介護事業を実施させていただきました。おかげさまで、地域の方にも知っていただけるようになりました。こういったことが出来てきますと、不測の事態に対応ができる組織になれるのかなと感じております。安心して暮らせる街づくりに、一役買えるような組織を目指して頑張りたいと思います。</p>

以上

作成者	好峯 亮
-----	------